

2023年 3月期第3四半期 決算説明

2023年2月9日
いすゞ自動車株式会社

説明内容

1. 全体総括
2. 2023年3月期第3四半期実績及び通期見通し

本資料における記述のうち、過去又は現在の事実に関するものを除いては、現時点で入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定及び判断に基づくものです。従いまして、かかる仮定及び判断に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化などを含む種々の要因によって影響を受ける可能性があり、ゆえに、当社の将来の業績、経営結果等と異なる結果をもたらす可能性があります。

常務執行役員
グループCFO
企画・財務部門統括代行

中俣 直人

1. 全体総括

全体総括

1. '23年3月期第3四半期実績

- CVは、半導体不足による生産制約あるも、先期からは改善が進みVOL増。
- LCVは、部品不足が概ね解消し、先期から大幅にVOL増。
- 損益は、資材費・物流費の高騰あるも、VOL増、価格対応及び円安進行により増益。

2. '23年3月期見通し（前回見通しからの変化）

- 海外市場は、CV・LCV共に概ね需要好調も、一部市場では想定VOLに届かず。
- CVの半導体供給は、足元で回復ペースに遅れ有り。
- 資材費及びエネルギーコストは、もう一段の上昇。
- 損益は、VOL減及びコスト上昇あるも、価格対応の追加及び費用減でカバーし、通期見通しは据え置く。

グループCFO、企画・財務部門統括代行の中俣でございます。
まずは全体を総括して説明いたします。

当第3四半期について、CVは引き続き半導体不足の影響を受けたものの、生産制約は先期から改善が進み、国内・海外市場ともにVOLが増加しました。LCVも部品不足が概ね解消したこともあり、先期から大幅にVOLを伸ばしました。
損益は、資材費及び物流費が高騰したものの、販売VOLの増加、価格対応及び円安進行により、増益となりました。

23年3月期の見通しについて、11月に公表した前回見通しからの変化点についてご説明いたします。

海外市場は、CV・LCV共に概ね需要好調が続くものの、タイヤエジプトなどの一部市場では、想定VOLに届かない見込みです。

CVの半導体供給は、3Qは想定通りに回復したものの、足元では、遅れが出ております。4月以降は供給環境が徐々に改善されることを見込むものの、来期の上期までは影響が残る見通しです。

資材費及びエネルギーコストは、もう一段、上昇しています。

通期の損益見通しについて、前回見通しから、販売VOL減少及びコスト上昇があるものの、価格対応の追加及び費用減により、マイナス影響をカバーすることで、従来の見通しを据え置かせていただきます。

全体総括 '23年3月期第3四半期実績(10-12月)

グローバル販売台数(千台)		'23/3-3Q	'22/3-3Q	対前年比増減	
CV計	国内CV	17	14	+3	+18%
	海外CV	74	72	+2	+3%
		91	86	+5	+5%
LCV計	タイLCV	55	44	+11	+26%
	輸出LCV	51	52	▲1	▲2%
		106	96	+10	+11%
合計		197	182	+15	+8%

決算実績(億円)

売上高	8,507	6,388	+2,119	+33%
営業利益	857	513	+344	+67%
経常利益	848	532	+316	+59%
当期利益	529	335	+194	+58%

まず、23年3月期第3四半期実績の総括です。

グローバル販売台数は、CV・LCVともに部品不足による生産制約が先期より改善し、先期を上回る結果となりました。

売上高は、販売台数の増加を受け、先期から2,119億円の増収となりました。損益につきましては、資材費及び物流費が高騰したものの、販売台数増加、価格対応及び為替による増益効果もあり、大幅な増収増益となりました。

全体総括 '23年3月期見通し(通期)

ISUZU

グローバル販売台数(千台)		'23/3期 今回見通し	'23/3期 前回見通し	対前回見直し比 増減		(参考) '22/3期
CV計	国内CV	69	69	+0	+0%	65
	海外CV	281	293	▲12	▲4%	278
	CV計	350	362	▲12	▲3%	343
LCV計	タイLCV	206	206	+0	+0%	173
	輸出LCV	218	232	▲14	▲6%	205
	LCV計	424	438	▲14	▲3%	378
合計		774	800	▲26	▲3%	721

決算見通し(億円)

売上高	31,000	31,000	売上高・利益・配当 の見通しは据え置き	25,143
営業利益	2,300	2,300		1,872
経常利益	2,450	2,450		2,084
当期利益	1,400	1,400		1,262
1株当たり配当	72円	72円		66円

23年3月期 通期見通しの総括です。

グローバル販売台数は、各国市場の動向をアップデートしました結果、昨年11月に公表した見通しから、海外CV及び輸出LCVの販売台数を引き下げております。

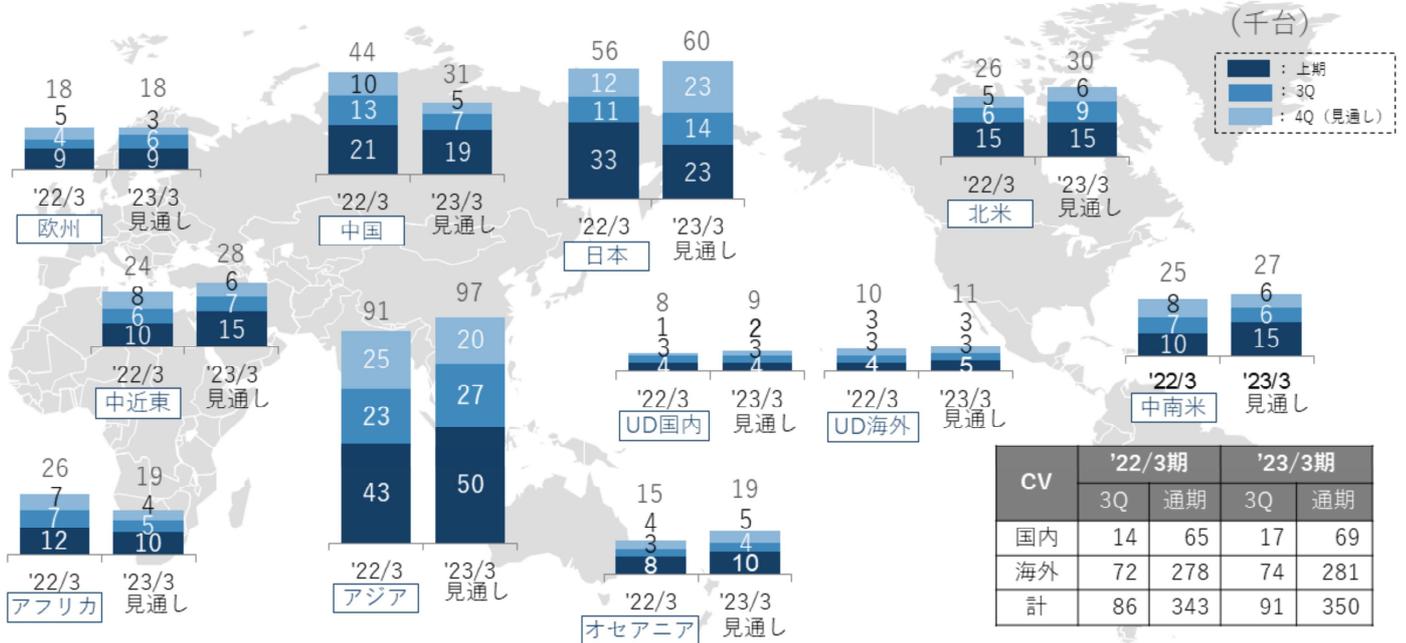
損益は、販売台数の減少、及びコスト上昇はありますが、価格対応の追加及び費用減によりカバーできると見込んでおります。

2. 2023年3月期 第3四半期実績及び通期見通し

続いて、23年3月期第3四半期実績及び通期見通しについて、詳細を説明いたします。

CVグローバル販売台数①

■ 3Q販売台数は、先期と比較して生産制約が改善したため、国内・海外共に増加



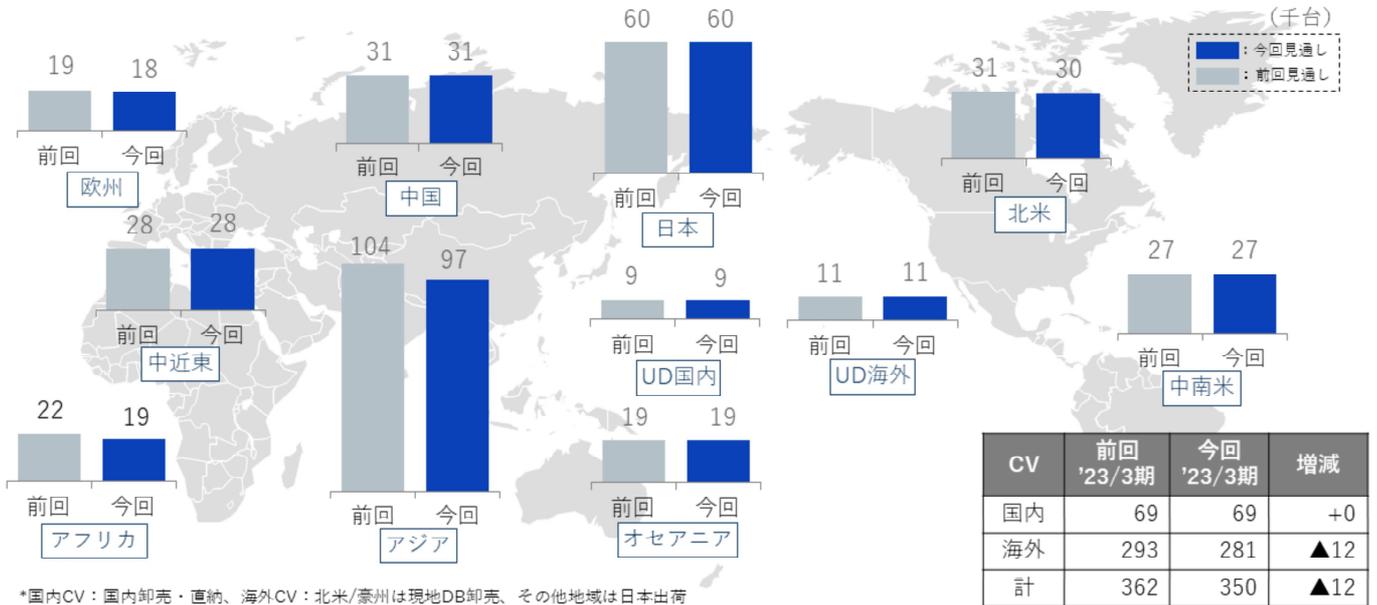
8 *国内CV：国内卸売・直納、海外CV：北米/豪州は現地DB卸売、その他地域は日本出荷

CVグローバル販売について説明いたします。

第3四半期のCVグローバル販売台数は、先期と比較して生産制約が改善したため、国内・海外市場ともに増加しております。

CVグローバル販売台数② 通期見通し(11月公表値との比較)

■ 国内は変わらず、海外はアジア及びアフリカ向けを中心に台数を引き下げ

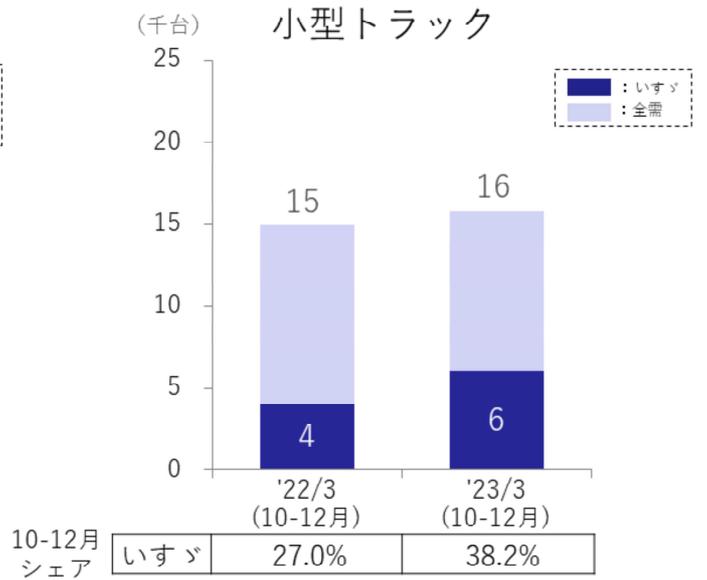
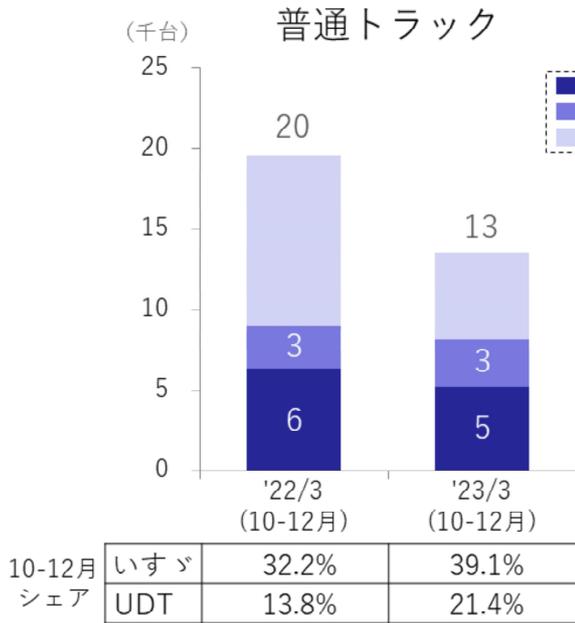


こちらは、通期見通しの11月の公表値との比較です。

今回見通しは、各国市場の動向を反映しており、インフレ・金利上昇の影響が懸念されるタイ、及び経済の混乱が続くエジプト向けを中心に見通しを引き下げています。

国内全需・シェア実績 普通トラック/小型トラック(10-12月)

- 普トラ：生産制約が少なかった先期と比較して台数減も、他社影響によりいすゞ/UDT共にシェアを伸ばす
- 小トラ：先期と比較しての生産制約改善及び他社影響により、シェアを戻す



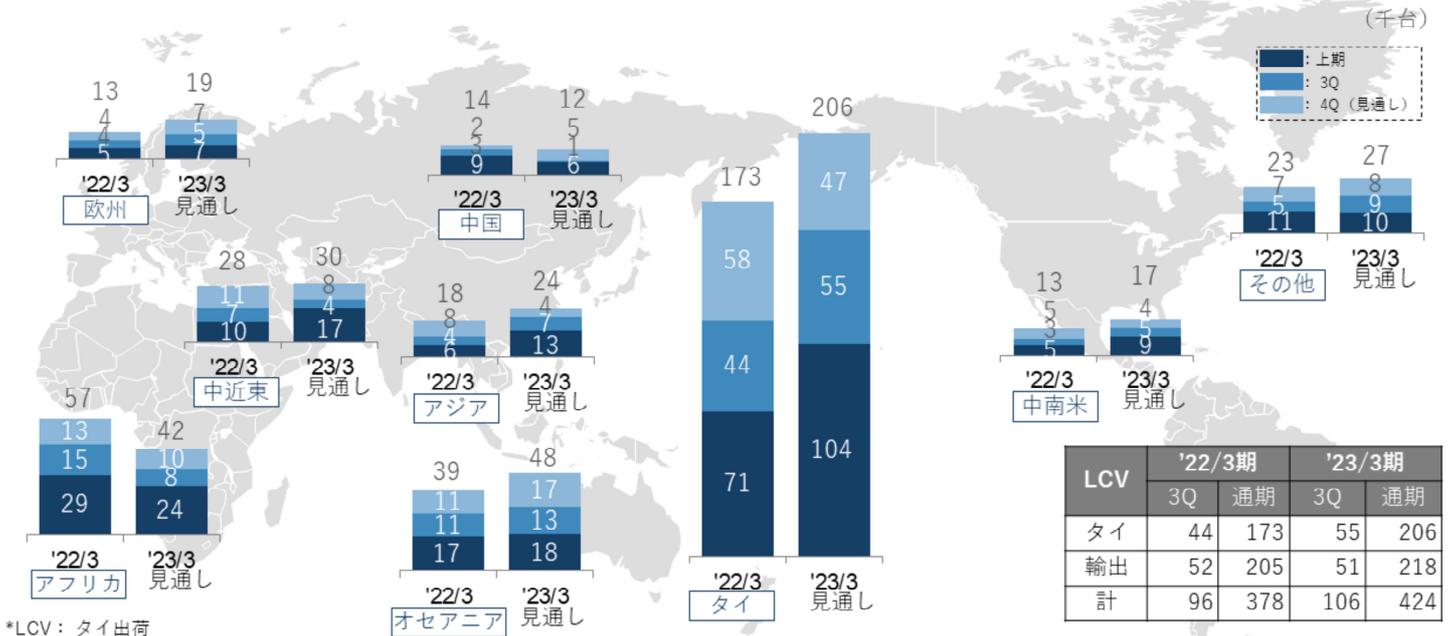
第3四半期の国内全需とシェア実績です。

普通トラックは、いすゞの販売台数は、生産制約の少なかった先期比で台数を落としましたが、シェアは、他社影響により、いすゞ・UDトラックスともに伸ばしています。

一方、小型トラックは、半導体不足による生産制約は続いているものの、先期と比べて生産制約が改善しており、いすゞ販売台数は増加しました。

LCVグローバル販売台数①

■ 3Q販売台数は、部品不足が概ね解消したことにより、タイ国内向けで大幅に増加



*LCV：タイ出荷

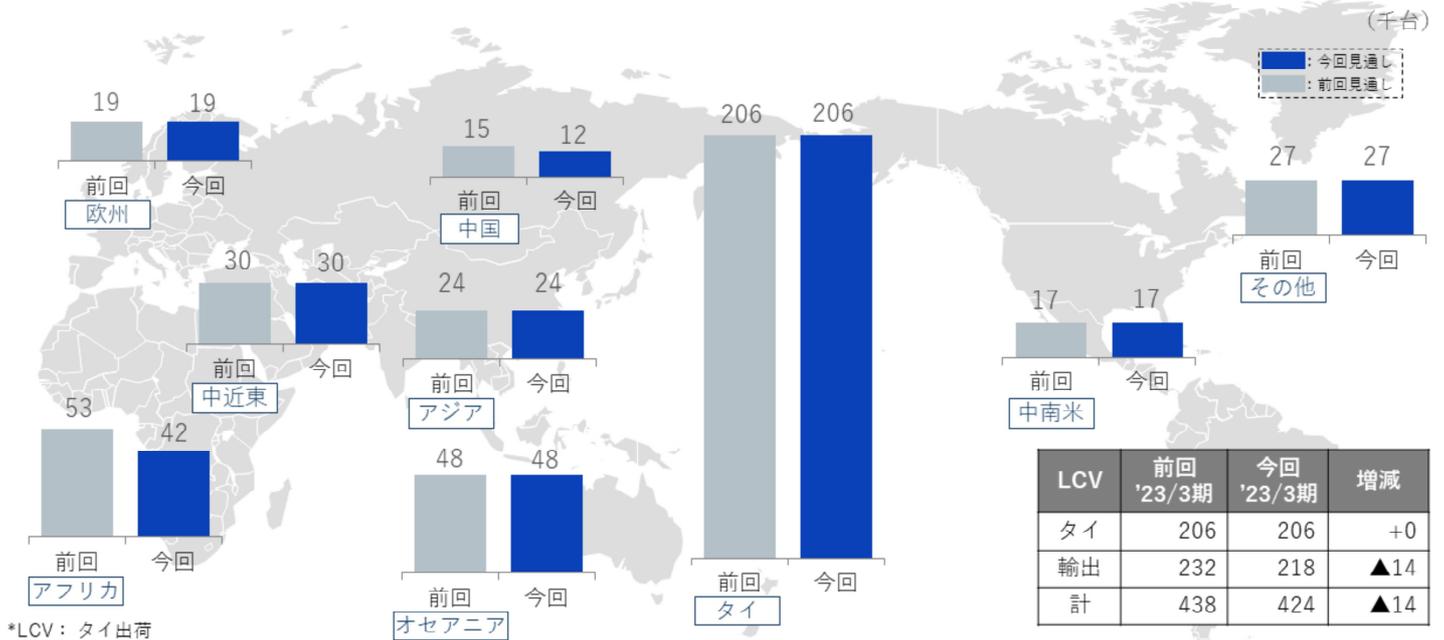
LCVグローバル販売台数です。

第3四半期のLCVグローバル販売台数は、部品不足が概ね解消したことにより、タイ国内向けで大幅に増加しました。

LCVグローバル販売台数② 通期見通し(11月公表値との比較)

ISUZU

■ 完成車の出荷台数は変わらず、タイからアフリカへのノックダウン出荷を引き下げ



12

Copyright(C) 2023 Isuzu Motors Limited All rights reserved

こちらは、通期見通しの11月の公表値との比較です。

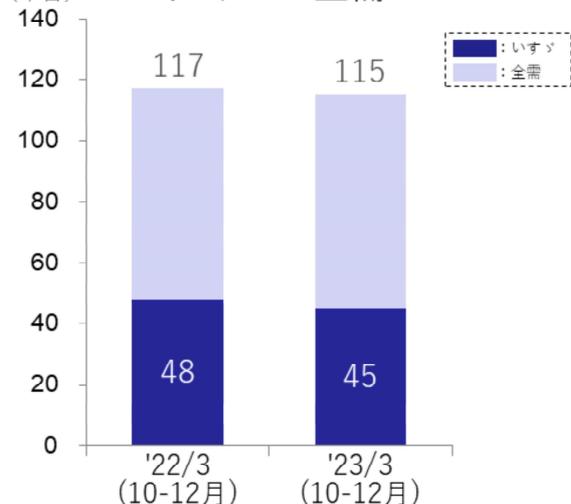
完成車の出荷台数に変動はありませんが、主に経済の混乱が続くエジプト向け、及び半導体制約が生じた南アフリカ向けについて、タイからのノックダウン出荷の見通しを引き下げています。

タイLCV全需・シェア/LCV生産台数実績（10-12月）

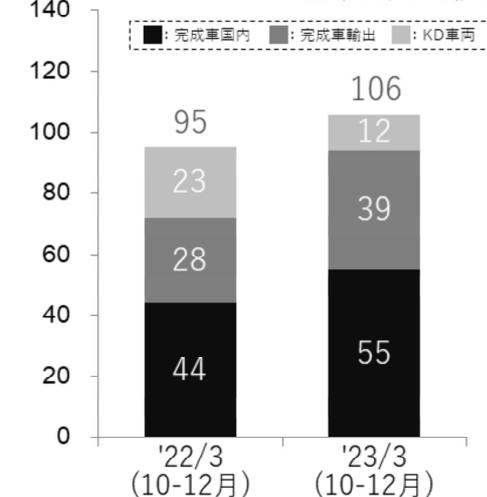
ISUZU

- 全需/シェア：金利上昇を契機にファイナンス審査が厳格化、生産制約を受けた先期並に留まる
- 生産台数：半導体不足の影響を受けていた先期と比較して増加

タイLCV全需



タイLCV生産台数実績



10-12月 シェア	いすゞ	全需
	41.0%	38.9%

第3四半期のタイLCV全需・シェア、及びLCV生産台数実績です。

金利上昇を契機にファイナンス審査が厳格化しており、全需は生産制約を受けた先期並に留まりました。

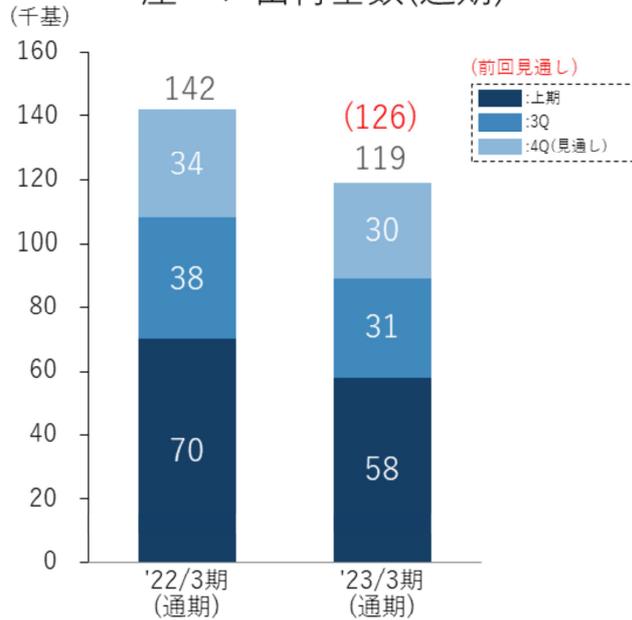
生産台数は、半導体不足の影響を大きく受けていた先期に比べて、大幅に増加しました。足元でも、高水準の生産を維持しておりますが、部品供給の面では、常にリスクのある状況が続いております。

また、来期の前半について、半導体不足による部品調達リスクが生じており、現在、供給確保に向けて活動を進めている状況です。

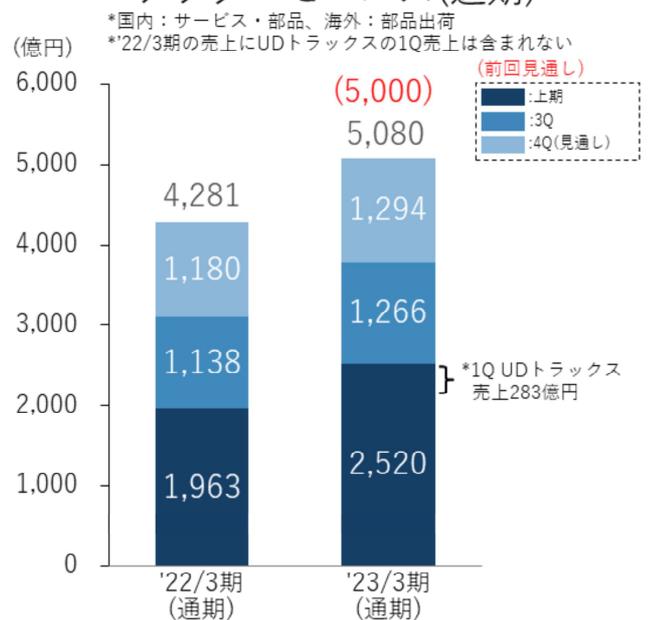
産業用エンジン出荷/アフターセールス売上

- 産エン：中国建機需要の減速により、通期見通しを引き下げ
- アフターセールス：国内・海外共に、通期見通しを引き上げ

産エン出荷基数(通期)



アフターセールス(通期)



産業用エンジン出荷及びアフターセールス売上です。

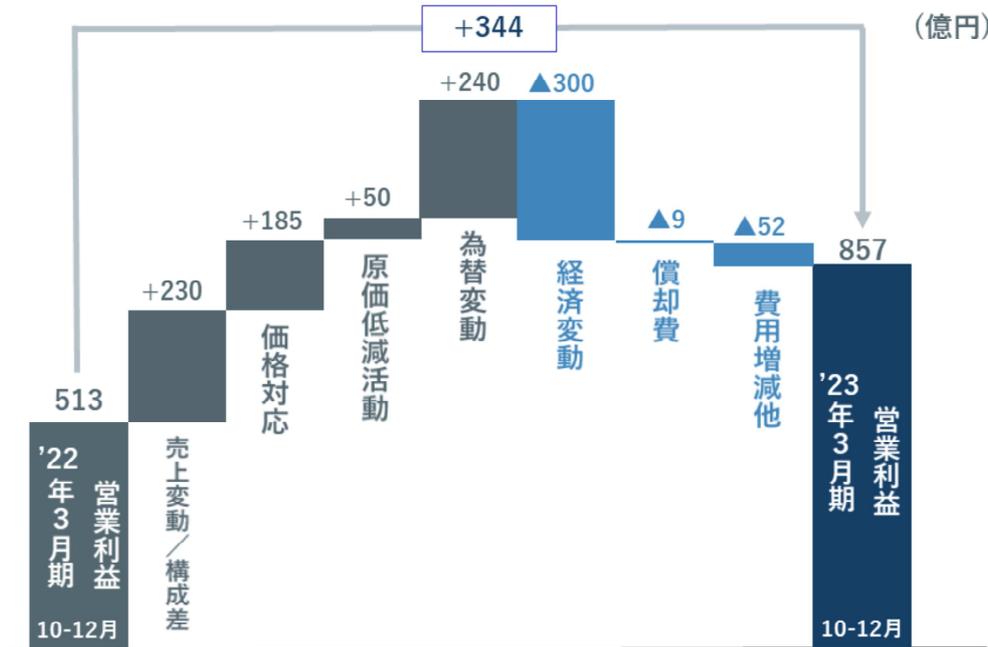
第3四半期の産業用エンジンの出荷基数は、中国建機需要の減速及び半導体不足により、先期を下回りました。また、通期見通しも中国建機需要の減速により、引き下げております。

アフターセールス売上は、円安の為替効果に加え、国内・海外共に順調に増加していることから、通期見通しを引き上げます。

なお、先期の売上にはUDトラックの4月～6月の売上は含まれていません。

'23年3月期第3四半期営業利益 増減分析 -前年同期比-

■ 資材費・物流費の高騰あるも、円安進行、VOL増加、価格対応及び原価低減活動により増益



為替実績	'22/3期	'23/3期
USD/JPY	113.7円	141.2円
THB/JPY	3.41円	3.88円
AUD/JPY	82.9円	92.8円

内訳	'23/3期
売上変動/構成差	+230
国内CV	+40
海外CV	+60
LCV	+85
その他	+45
為替変動	+240
USD	+120
AUD	+25
THB他	+95
経済変動	▲300
資材費	▲235
物流費	▲50
電気・ガス他	▲15
費用増減他	▲52
開発費	▲25
労務費	▲18
一般経費他	▲9

続いて、23年3月期第3四半期の営業利益の増減分析です。

資材費・物流費の高騰が続いているものの、円安の進行、販売台数の増加、価格対応及び原価低減活動を進めたことにより、344億円の増益となりました。

為替実績は表に記載した通りでございます。

'23年3月期第3四半期実績 - 前年同期比 -

(億円)	'23/3-3Q	'22/3-3Q	対前年比増減	
売上高	8,507	6,388	+2,119	+33%
営業利益	857	513	+344	+67%
経常利益	848	532	+316	+59%
当期利益*	529	335	+194	+58%

	'23/3	'22/3		'23/3	'22/3
営業利益	857	513	経常利益	848	532
持分法による投資損益	+9	▲1	投資有価証券売却損益、固定資産売却損等	+10	+1
為替差損益	▲69	+14	法人税等	▲206	▲116
その他	+51	+6	非支配株主に帰属する当期純利益	▲123	▲82
経常利益	848	532	当期利益*	529	335

*親会社株主に帰属する当期純利益

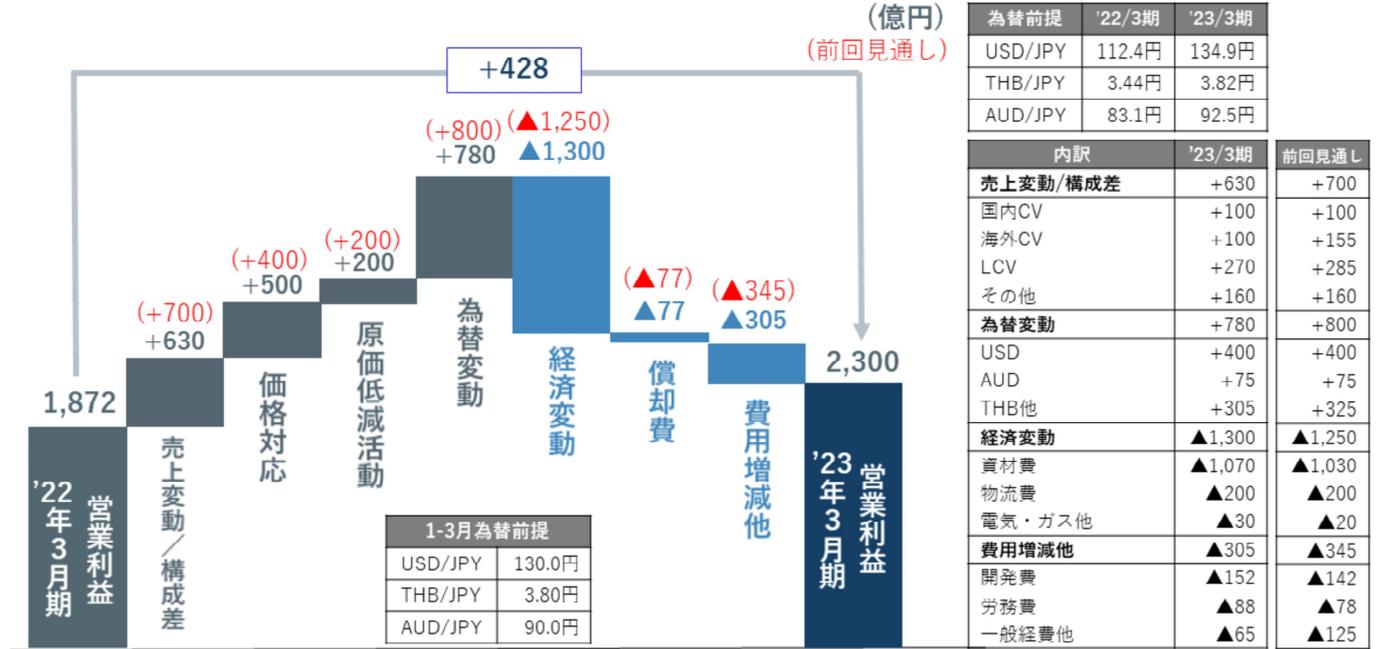
23年3月期第3四半期の営業利益以下の説明です。

経常利益は、営業利益857億円から持分法による投資損益、為替差損等を加減し、848億円となりました。

当期利益は、経常利益848億円から投資有価証券売却損益及び固定資産売却損等、法人税等、及び非支配株主に帰属する当期純利益を加減し、529億円となりました。

'23年3月期営業利益 増減分析 -前年同期比-

■ VOL減及び資材費の高騰あるも、価格対応の追加及び費用減でカバー。足元の為替前提を見直した上で、通期見通しを据え置く。



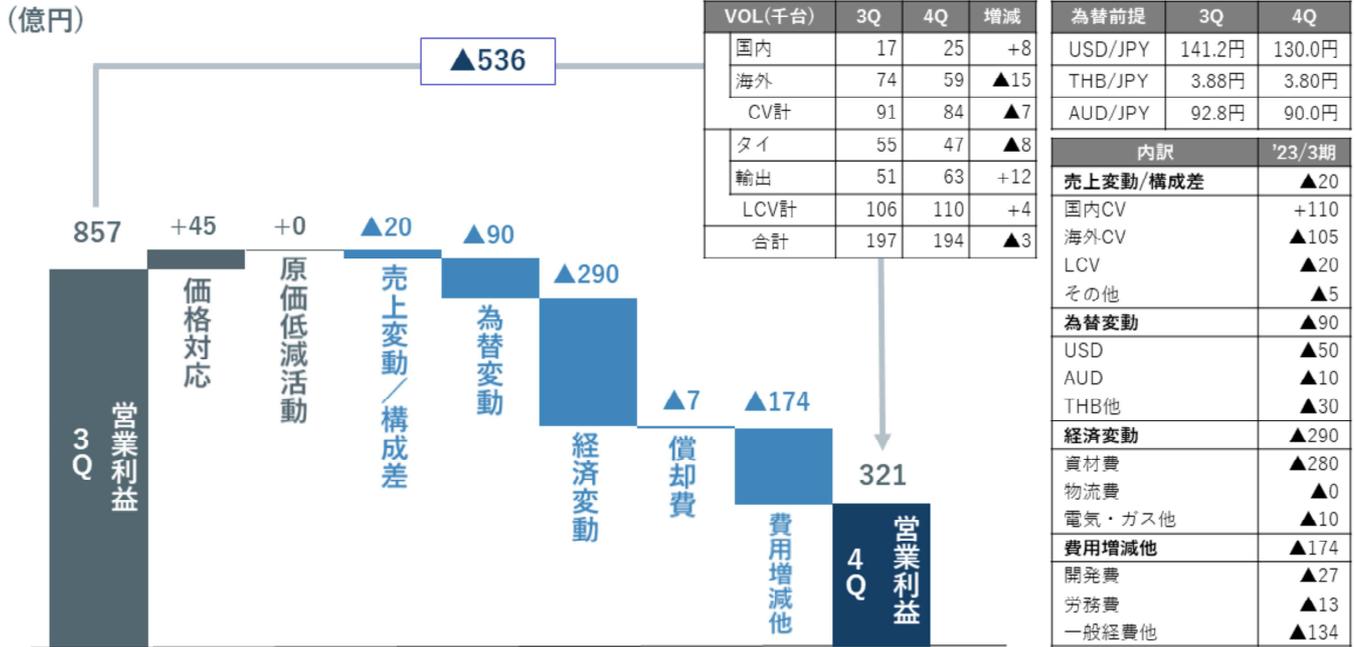
続いて、23年3月期通期見通しの営業利益の増減分析です。

冒頭に申しあげました通り、通期の営業利益見通しは変更ございません。前回見通しからは、販売台数の減少、及びもう一段の資材費等の高騰を見込むものの、価格対応の追加及び費用減でカバーします。

なお、1-3月の為替前提は、USドル130円、タイバーツ3.8円、オーストラリアドル90円に設定しております。

【参考】'23年3月期営業利益 増減分析 -3Q/4Q比-

■ 価格対応は積み上がるも、経済変動及び費用増による減益影響は第4四半期に集中



最後に、23年3月期第3四半期と第4四半期の営業利益の段差の説明でございます。

価格対応は積み上がるものの、為替環境の悪化に加えて、経済変動のマイナス影響、及び開発費・一般経費などの費用が第4四半期に集中していることもあり、営業利益は第3四半期から536億円減益の321億円となる見込みです。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU

全体総括 '23年3月期第3四半期実績（4-12月累計）

グローバル販売台数(千台)		'23/3 1-3Q	'22/3 1-3Q	対前年比増減	
CV計	国内CV	44	* 51	▲7	▲14%
	海外CV	222	* 204	+18	+9%
		266	* 255	+11	+4%
LCV計	タイLCV	159	116	+43	+38%
	輸出LCV	155	144	+11	+8%
		314	260	+54	+21%
合計		580	515	+65	+13%

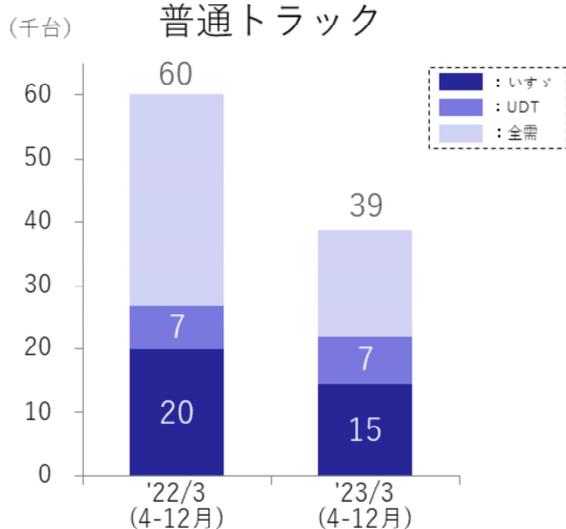
決算実績(億円) **'22/31-3Q : 4-6月UDトラック販売台数含む（国内CV+2千台、海外CV+2千台、CV計4千台）

売上高	* 23,440	17,838	*+5,602	+31%
営業利益	1,979	1,486	+493	+33%
経常利益	2,103	1,599	+504	+32%
当期利益	1,259	1,047	+212	+20%

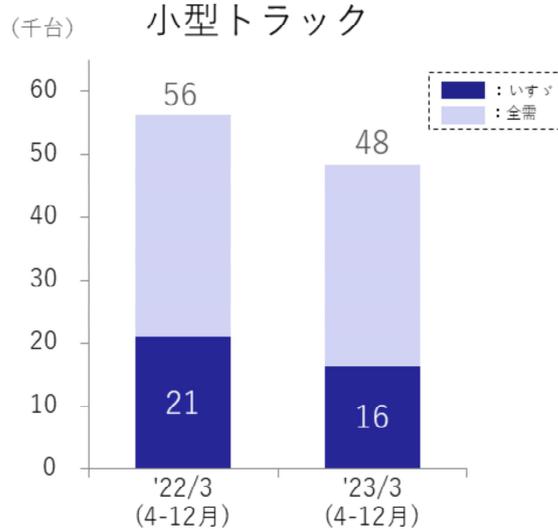
*UDトラック取り込みによる売上高影響：+793億円

国内全需・シェア実績 普通トラック/小型トラック(4-12月累計)

普通トラック



小型トラック

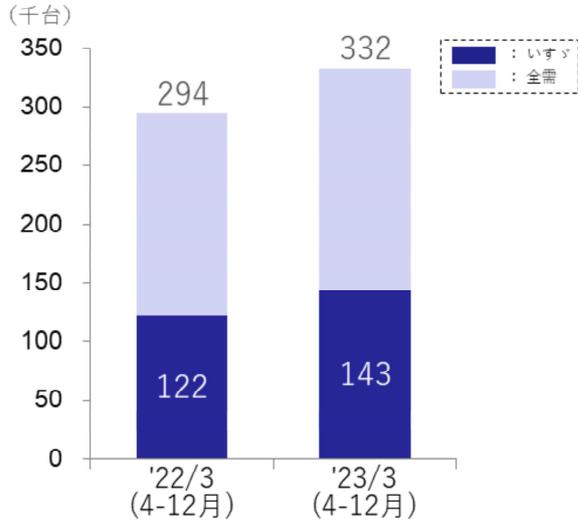


いすゞ	'22/3 (4-12月)	'23/3 (4-12月)
いすゞ	33.1%	37.6%
UDT	11.6%	19.2%

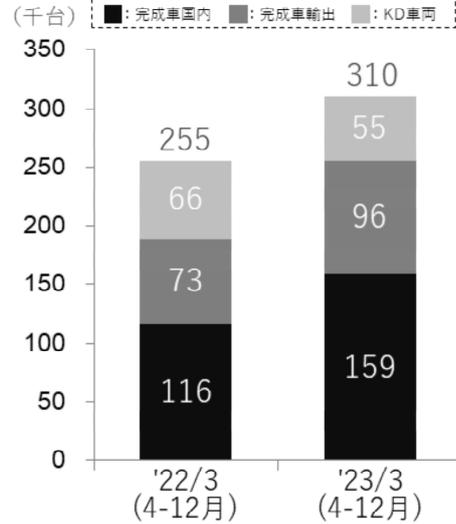
いすゞ	'22/3 (4-12月)	'23/3 (4-12月)
いすゞ	37.3%	33.6%

タイLCV全需・シェア/LCV生産台数実績（4-12月累計）

タイLCV全需



タイLCV生産台数実績



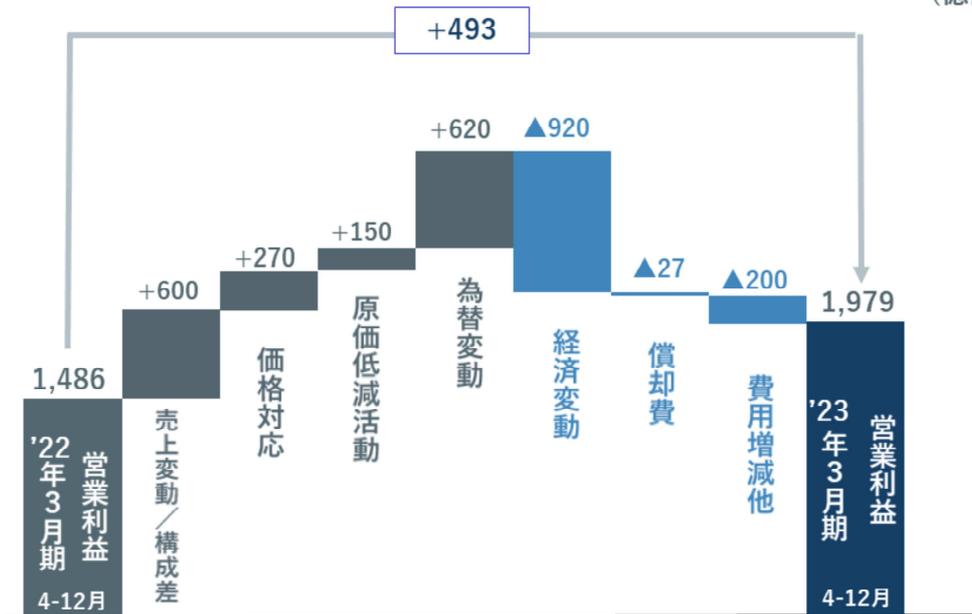
4-12月 シェア	いすゞ	'22/3 (4-12月)	'23/3 (4-12月)
		41.4%	43.0%

'23年3月期第3四半期営業利益 増減分析(4-12月累計) -前年同期比-

(億円)

為替実績	'22/3期	'23/3期
USD/JPY	111.1円	136.5円
THB/JPY	3.41円	3.82円
AUD/JPY	82.7円	93.3円

内訳	'23/3期
売上変動/構成差	+600
国内CV	▲90
海外CV	+190
LCV	+365
その他	+135
為替変動	+620
USD	+330
AUD	+60
THB他	+230
経済変動	▲920
資材費	▲755
物流費	▲150
電気・ガス他	▲15
費用増減他	▲200
開発費	▲133
労務費	▲57
一般経費他	▲10



'23年3月期第3四半期実績(4-12月累計) - 前年同期比 -

(億円)	'23/3 1-3Q	'22/3 1-3Q	対前年比増減	
売上高	23,440	17,838	+5,602	+31%
営業利益	1,979	1,486	+493	+33%
経常利益	2,103	1,599	+504	+32%
当期利益*	1,259	1,047	+212	+20%

	'23/3	'22/3		'23/3	'22/3
営業利益	1,979	1,486	経常利益	2,103	1,599
持分法による投資損益	+43	+50	投資有価証券売却損益、固定資産売却損等	+15	▲8
為替差損益	▲25	+24	法人税等	▲533	▲327
その他	+106	+39	非支配株主に帰属する当期純利益	▲326	▲217
経常利益	2,103	1,599	当期利益*	1,259	1,047

*親会社株主に帰属する当期純利益